

2023年11月教会便り 砂川

主任司祭 ナルチゾ神父

11月は、教会の伝統の中で“死者の月”と呼ばれています。しかし、むしろ“終末の月”といった方がいいのかもしれませんが。



1日は諸聖人の祭日、2日は死者の日、どちらも教会の交わりの中で一生を終えた人々すべてが記念され、キリストとの交わりの中で彼らとともに祈ります。この交わりは聖体祭儀でいつも記憶されるものですが、今月は特別に彼らとの交わりの中で祈ります。

今月、教会でも墓参をしますが、皆さんもなさることをお勧めします。教会は、「死者の日は、復活の賛美豊かな交わりの時」とであると言っています。墓参をしながら共に過ごした日々を思い、いつか共に生きる日々を思いながら過ごされたら良いのではないのでしょうか。

王であるキリストの主日（26日）の2週間くらい前から、神の国の終末的特徴が強くなってきます。そのため、「終末主日」とも呼ばれています。

このテーマは、待降節の前半部（12月16日まで）に持ち越されていきます。



典礼暦年の終わりを過ごす11月は、この時期にふさわしい終末的性格にあった書物が読まれます。福音書も終末に関する説教は全部この時期に読まれます。

12月3日からは、待降節。新しい典礼周期（B年）が始まります。このような機会に、典礼暦年について学ぶのはいかがでしょうか。

（参考：Laudate）

11月の主な典礼・ミサ時刻

日	曜	典礼暦	担当
5	日	年間第31主日 当教会出身聖職者・修道者のために祈る日 P4 平和を願う	9:00 ミサ 先読み: 多田 第1: 安藤 第2: 間野 答唱詩編: 高塚/多田 オルガン: 古野
12	日	年間第32主日 司祭と召出を求めるために祈る日	9:00 ミサ 先読み: 高塚 第1: 本田 第2: トウイハン 答唱詩編: 三上夫妻 オルガン: 古野
19	日	年間第33主日 貧しい人のための世界祈願日 病者と洗礼志願者のために祈る日	9:00 ミサ 先読み: 多田 第1: 多田 第2: 高塚 答唱詩編: 間野/安藤 オルガン: 古野
26	日	年間第34主日 王であるキリスト 教会から離れた信者のために祈る日	9:00 ミサ 先読み: 高塚 第1: 古野 第2: 西川薫 答唱詩編: 三上夫妻 オルガン: 斎藤

◆平日のミサ 月曜日～金曜日 6:00、土曜日 10:00

◆今月の霊名記念日の方…おめでとうございます(敬称略)

8日 スコートウス	山谷神父様
17日 聖エリザベト(ハンガリー)おとめ	岡本樹里、高塚紀子、納富京子
22日 聖セシリアおとめ	木村知栄子、佐藤江里子

◆お知らせ

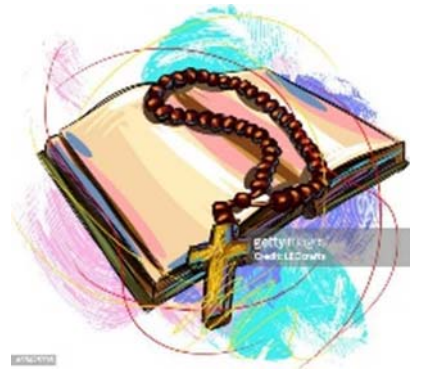
- ・26日(日) クラウヂオ神父様を迎えて黙想会。多数参加してください。
- ・ロザリオ会は冬季(11月～3月)夜間の交通安全を考慮してお休みします。
- ・毎週水曜日 10:00～ 聖書に親しむ会を実施しています。

花当番	
4日(土)	安藤
11日(土)	古野
18日(土)	多比良
25日(土)	高塚

皆様、ロザリオの月も 31 日が過ぎました。 トゥイハンさん

私たちはロザリオを通して聖母マリアに世界のため、教会のため、苦しんでいる貧しい病気の兄弟姉妹、そして病気で亡くなった魂のためにとりなしていただけるよう真剣に祈ります。

「ロザリオ」は素晴らしい祈りの手段です。忠実に粘り強く毎日この祈りを暗唱するなら、失望することはありません。



11 月は死者の月、親孝行の季節。この月、教会全体の気持ちが高まり、私たちの先祖、この世から消えた人たち、父の家に戻った人たちを思い出します。

ですから私たちの先祖に対する深い感謝の気持ちを表すために、ミサに出席し、祈り、犠牲を払い、彼らの功績と遺産にふさわしい生き方をする決意を持ち、聖なる生活を豊かにしましょう。

カトリック信仰の遺産を活用することで、家族愛がより強くより親密になり、他社への愛がより情熱的になりお互いに希望と信仰をもたらし、人生をもっと愛することが出来ます。アーメン

貧しい人のための世界祈願日(11/19)とは？

2015 年 12 月 8 日から 2016 年 11 月 20 日の間に、教会は「いつくしみの特別聖年」を祝いました。この閉年にあたって、

教皇フランシスコは使徒的書簡『あわれみあるかたと、あわれな女』を公布されましたが、この中で、教皇は「貧しい人のための世界祈願日」を年間第 33 主日に行うように定められました。



イエスが常に、貧しい人、弱い人の立場に立ち、マタイ福音書 25 章 31 節から 45 節のたとえ話にあるように、「わたしの兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたことなのである」とおっしゃっています。



このキリストに倣い、わたしたち一人ひとは、貧しい人びと、社会の中で弱者とされている人びとに寄り添い、奉仕するように求められているのです。



年間を通して、実行していかなければならないことですが、特に、年間 33 主日は、「いつくしみ」そのものであられるイエスを思い、祈り活動する日といたしましょう。

(Laudate…女子パウロ修道会ウェブサイト より)